

外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前		熊本大学病院医師 黒田(第1週)竹崎(第2週) 賀末(第3週)植川(第4週)	藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	田中 靖章		庄野 弘幸	田中 靖章 (第1、3週)
	午後	庄野 弘幸	田中 靖章		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 仁田脇(第2週)川村(第4週)				
消化器内科	午前		藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来 予約	午前			熊本大学病院医師 瀬戸山		
泌尿器科	午前			済生会熊本病院医師 三上(第2、4週)	済生会熊本病院医師 占部(第1、3週)	
腎臓内科 予約	午前					町田 健治
	午後			町田 健治		
糖尿病外来 予約	午前					済生会熊本病院医師 星乃(第2週)、松尾(第3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
ペインクリニック	午後					非常勤医師 荒川(第2、4週)
脳ドック 予約	午後			藤岡 正導		

- 受付時間 / 8:30~11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 診療案内 / TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
- ※お電話での予約や予約変更は平日14:00~17:00に承っております。
- ※休日がございますので、事前にお問い合わせください。
- ※再診や紹介状をお持ちの方は事前のご予約をおすすめします。

お知らせ

ホームページに最新の休診情報を掲載していますので、ご覧ください。

患者さんの権利と義務

我々は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療の内容等について十分な説明を受ける権利
3. 治療方法など自分の意志で決定する権利
4. 個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
5. 診療記録の開示を求める権利
6. あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

1. 自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
2. わからない事柄について質問する義務
3. 病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
4. 他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。
「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



64 Take Free.
2024.2



クラウドファンディング
お礼

ありがとうございました!

年頭挨拶

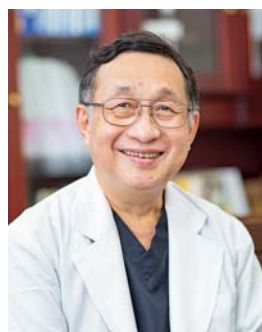
訪問看護ステーション開始

みすみ病院のできごと / 部署紹介 [リハビリテーション室]

外来医師一覧

[特集] クラウドファンディング

「さいせい」2024年 新年のご挨拶



院長
庄野 弘幸

みすみ病院は 地域の生活を支えることをめざします

新年あけましておめでとうございます。昨年末から、おそらく皆さんも4年ぶりの忘年会や新年会に参加されたことだと思います。感染症の対策はできていましたか？2023年は新型コロナウイルスも少し下火になり、法律的には5類に引き下げられました。しかしながら、あちこちでパラパラと感染者は見られており、消失したわけではありません。2024年もおそらく同様に感染者は見られる事だと思います。みなさんも、決して油断することなく、手洗いやうがいなど感染対策は忘れないでください。

三角町、上天草市では、毎年、少子高齢化が進んでいます。三角町の高齢化率はもうすぐ50%に届きそうです。都市部では「高齢化＝高齢者の増加」になっているようですが、この地域では、「高齢化率は上昇しているのに、高齢者の人数は徐々に減少傾向」です。これは若い人の人口がどんどん減少しているための数字上のマジックです。みすみ病院だけでなく、地方の病院では、医師や看護師、看護助手、薬剤師など多くの職種で人材不足に苦しんでいます。都市部に出て行って働いている方をご存じの方がおられましたら、みすみ病院と一緒に働いてみないかとお声かけをしていただくと嬉しいです。

ご存じない方もおられるかもしれませんが、みすみ病院の理念というものがありません。「医療・福祉を通じて安心して生活できる地域創りに貢献します」というものです。病院の玄関に入ってすぐ左の壁にかけてあります。一度見てみてください。

みすみ病院では、高度急性期医療はできませんが、皆さんの生活や在宅療養を支えるために、2023年10月に訪問看護ステーションを開設しました。これで、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリと御自宅での生活を支える部門が充実してきました。さらに、リハビリ部門の強化をめざしており、2024年には、運転シミュレーターの導入も行います。高齢になったり、脳卒中を発症したりして運転に不安を持っている方も多くおられますので、そのような方の一助になれば幸いです。また、運転免許を返納された方などの、近所の店へのお買い物の足として使える電動シニアカー、電動車いすも併せて導入することにしました。リハビリとして実際に練習してもらい、安心して利用して欲しいと思います。(介護保険を利用したレンタルなどもあるようです)患者さん始め多くの方から応援のコメントとご寄付をいただきました。本当にありがとうございました。多くの方に利用してもらいたいと考えています。

新しい医師も加わり、患者さんにさらに満足していただけるような診療を目指しています。今年も「みすみ病院」をよろしく願います。

2024年、皆様どのような新年を迎えることができましたでしょうか。

2024年は【申辰(きのえたつ)】です。陰陽五行説によると「申」は草木の成長を表す意味があるそうです。「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物“龍”を意味し、水や海の神として祀られてきた龍は竜巻や雷など自然現象をおこす大自然の躍動を象徴するものです。そのため、【申辰】は昨年まで努力してきたことが、実を結んで成就し、今年の更なる努力によりスピード感を持って成功に近づける年となるそうです。

昨年、当院では、在宅療養支援機能強化として、訪問看護ステーションを立ち上げました。又、住み慣れた地域で住民の皆様が元気に過ごせるための取り組みとして、クラウドファンディングに挑戦し、取り組みを始動させる基礎固めを行ってきました。それぞれの取り組みがこの地域で認知され、本格的な活動に繋がっていくのは、今年の私たちみすみ病院の努力にかかっているのではと感じております。人口減少地域で、人材確保困難な中、事業継続ができてきたのも、地域の皆様のご支援によるものと思っております。開院20年間で築きあげた信頼を大切に今年も、地域の皆様のために活動していきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。



看護部長
石田 由紀子

新年明けましておめでとうございます。今年のお正月は2020年1月から流行した新型コロナウイルスが2類から5類に移行しての初めてのお正月で、4年ぶりに家族・親戚集まり、賑やかで温もりのあるひとときを送られた方も多かったのではないのでしょうか。

そのような中、元旦に能登半島で震度7を記録する大規模な地震発生という心を痛めるニュースが飛び込んできました。人的、物的被害状況は、私たちが体験した熊本地震を上回る規模の予想で、1日も早い復旧・復興を心から願いたいと思っています。災害立国に暮らしている以上、地震、台風、大雨などの自然災害に備え、常日頃から防災意識を高め、家庭、職場において、訓練、教育を励行していくことは、今や当たり前になりつつあります。地域住民を守るという観点から、当院は災害対応においても地域の中心的役割を担い、病院理念にもあるように「安心して生活できる地域創りに貢献します」を平時・有事にかかわらず実践していかなければならないことを実感しています。

さて、済生会みすみ病院は、国立から済生会に経営権が移り、丸20年が経過しました。順風満帆な道のりとは言えないまでも、現在に至るまで地域の皆様と共に歩んできてきたのは、地域住民、連携先機関、地元医師会、地元自治体をはじめとする関係者の皆様のご理解とご支援のおかげであると感謝しています。これからも、医療のみならず災害対応など多岐にわたり地域住民のために一肌脱ぎ、地域になくてはならない病院を目指していきます。今後ともより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



事務長
山口 隆一郎





はじめに

2023年10月1日、済生会みすみ病院訪問看護ステーションみすみを開設しました。ステーション理念を「住み慣れた地域で安心して、その人らしく自立した生活を送ることができるよう、利用者・家族の思いに寄り添い、状態やニーズに合わせた支援を行います」として、現在看護師4名が在籍し、在宅療養を共に支え、寄り添った看護の提供に努めています。

訪問看護を利用したい、利用に迷っている、どんなことを支援してもらえるのか知りたい、など、いつでもお気軽にご相談ください。

開設の経緯

2003年に宇城・上天草地域の医療継続を担うために、済生会みすみ病院は国立病院から移管されました。「医療・福祉を通じて安心して生活できる地域創りに貢献します」を病院の理念として、地域の状況に応じて、救急医療や在宅復帰に重要なリハビリテーションなどを行ってきました。2023年3月には開院20年が経過しました。

高齢化や人口減少が早いスピードで進むこの地域では、高齢者の一人暮らしや高齢夫婦世帯が増加しています。その影響で、在宅で医療や介護、福祉を必要とする方々が、「最後まで住み慣れた地域で過ごしたい」という希望があっても、その希望をかなえられないということも増えてきました。また、最近では緩和されてはきているものの、新興感染症拡大防止のため、入院患者の面会禁止や面会制限は続いている状況です。このような状況から、入院ではなく可能な限り在宅で過ごしたいという患者さんやご家族からの声も聞かれるようになってきました。

そこで今回、当院では、住民のみなさまの声に答え、さらなる地域医療の充実を図るため、訪問看護ステーションを開設することとなりました。訪問看護ステーションみすみでは、訪問看護を通して、入院中から在宅、外来へと切れ目のない支援を行っていきたくと考えています。

開設から現時点までの経過報告

開設より現在までに、十数名の方が訪問看護のご利用を開始されています。状態観察や内服管理、看護リハビリテーション、排泄の介助、日常生活の援助、家族支援などを行っています。病院併設のステーションの利点を生かし、入院中から、在宅療養に向けた支援内容を訪問看護ステーションスタッフが一緒に考え、検討しています。

訪問看護の利用について

訪問看護を利用するためには… かかりつけの医師の訪問看護指示書が必要です。

訪問看護を利用できる方はどんな方？

- 病状や障害の程度にかかわらず、医師が訪問看護を必要と認めた方
- 点滴や傷の処置が必要だが、何日も通院するのが難しい方
- 最新まで自宅で過ごしたい方
- 認知症や精神疾患があって生活の支援が必要な方
- お一人での食事や入浴・薬の管理が難しい、不安がある方
- ご家族等での介護が難しい方や、介護するご家族等がない方
- 病状の悪化を予防するための指導や手当が必要な方
- 入退院を繰り返しているなど、ご自宅での療養生活に不安がある方



訪問看護で行うこと

- **病状や健康状態の観察・対応**
病状や障害の状態、血圧・体温・脈拍などを測定し、病状や障害など心身の健康状態を観察し、状態に応じた対応をします。
- **療養生活の支援や相談**
食事や清潔、お口のケア、排泄の介助などを行います。健康状態の維持・改善を図り、生活のリズムを整えます。
- **療養処置など**
主治医の指示に基づく療養処置(点滴・中心静脈栄養・経管栄養・尿道カテーテルの管理、傷の手当てなど)を行います。
- **医療機器の管理**
在宅酸素・人工呼吸器・輸液ポンプなどの管理を行います。
- **床ずれ予防・処置**
床ずれ防止の工夫や介護者への指導、床ずれの手当を行います。
- **終末期ケア**
がん末期や終末期などでも、最期までその人らしく療養生活を送ることができるよう、本人やご家族、介護者の思いに寄り添って援助します。
- **リハビリテーション看護**
運動機能、呼吸機能や食べ物を飲み込む力の回復・維持・低下予防などについて、助言や指導を行います。拘縮予防や機能の維持・回復、嚥下機能訓練などを行います。
- **介護予防**
低栄養や運動機能低下を防ぐための助言を行います。
- **認知症ケア**
心身の健康状態を観察し、服薬の確認や周囲とのコミュニケーションがスムーズにいくよう援助します。
- **ご家族等への介護支援・相談**
介護方法を指導したりする他、さまざまな相談に対応します。



介護保険・医療保険のいずれかの保険での利用となります。**利用料の1～3割が自己負担**になります。
※要介護認定を受けている方は、基本的に介護保険が優先となります。

お問い合わせ先

- 当ステーション(済生会みすみ病院2階)に直接ご来所いただくか、またはお電話ください。
- かかりつけの病院の主治医、または看護師にご相談ください。
- ご担当のケアマネジャーにご相談ください。
- お住まいの市町村役場窓口や、市町村地域包括支援センター等にご相談ください。

営業日・営業時間

平日/8:30~17:00
土曜日/8:30~12:45
※12月29日~1月3日は除きます。
※緊急時は、休日や夜間も含めて、24時間対応いたします。

〒869-3205
熊本県宇城市三角町波多775番地1
済生会みすみ病院(2階)
TEL. 0964-41-2101(直通)
FAX. 0964-53-2121



優しさと笑顔にあふれる訪問看護ステーションを目指して、日々頑張っています。



クラウド
ファンディング

おかげさまで、第2目標金額 1,000万円を達成しました!!

1月9日に第1目標であった800万円を達成し、その後1月15日にネクストゴールとして目標にしていた1,000万円も達成して終了することができました。たくさんのご声援とご支援を賜り、誠にありがとうございました。
住民のみなさんが安心して住み慣れた地域で生活できるよう、運転シミュレーター、電動車いす、電動シニアカーを導入して地域貢献のため精一杯努めて参ります。これからも済生会みすみ病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。



プロジェクトの概要

熊本県宇城市三角町の高齢化率は45%を超えています。地域の公共交通は少なく、車を持たない高齢者は生活に必要な「あし」がなく困っています。地域では電動車いすや電動シニアカーのレンタルも行っていますが、「運転が慣れずに怖くて乗れない」という方が多い現状です。また、怪我の手術や脳卒中後のリハビリ中の方で運転ができるか不安な方、高齢になり運転操作に対して不安がある方などの運転再開支援・運転操作評価も必要です。そのような方が安心して移動ができる街を目指す一つの解決策として、運転シミュレーターによる適切な評価と自動車運転が不可能だと判断された場合、それに代わる電動車いすや電動シニアカー普及のため新たな機器を導入するためクラウドファンディングに挑戦しました。

寄付募集期間

2023年11月6日～2024年1月31日

ご寄付の使い道

運転シミュレーター、電動車いす、
電動シニアカーの導入費用



みすみ病院 レディーフォー

検索



クラウドファンディングとは?…インターネットを通して活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募る仕組みのことです。



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

済生会みすみ病院 健康フェスタうきうき病院体験

10月28日(土)に地域交流活動としてコロナ禍前まで取り組んできた健康フェスタを三角東港、海のピラミッド前で開催しました。
こちらは、月1回第4土曜日に旅客船会社のシークルーズ主催、JR、トバセ・ラボ(戸馳島の農業団体)、トヨタ(介護車両・電動車いす)の協力で「and MISUMI食と港を楽しむ日」イベント内のタイアップ企画として当院が参加したものです。



みすみ病院の展示活動は、
1.ユニフォーム体験
昔懐かしい感じの白衣と聴診器(ちゃんと子どもサイズです。)を着用し、海のピラミッドから天草灘方向に背を向けて写真撮影しプレゼント。
2.手洗いチェック
手洗いを行ってもらい、紫外線蛍光灯で確認。手洗い後の菌を視覚で伝えることで来場者の素直な驚きが続出でした。
3.高齢者体験・車椅子体験
高齢者体験では器具を装着し、身体機能を制限して階段の上り下りをしてもらったことで、「普段と違う視覚・体感の疑似体験ができた」という声や、車椅子体験では「走法、扱い方は意外に難しいと感じた」との感想が聞かれました。

初めての参加でしたが、142名の方に体験してもらい、久しぶりに地域の方と触れ合う良い機会となりました。

地域交流推進委員会

部署紹介★

リハビリテーション室



総勢45名で 多岐にわたるリハビリ・支援を行います

みすみ病院開院当初は、セラピスト2名と少人数でした。回復期リハビリテーション病棟や通所リハビリの開設などがあり、現在では総勢45名(PT20名、OT20名、ST5名:在宅リハ9名含む)の大所帯となっています。担当業務は、急性期の早期リハビリテーションに始まり、回復期における機能回復・在宅復帰支援、在宅生活維持を図る介護予防、地域リハを啓蒙する広域支援センターなど多岐にわたります。部署の雰囲気は、みんな明るくさくで、和気あいあいとした部署です。

